SLyDIF_I で らくらくスライド作成

monaqa

GitHub: https://github.com/monaqa



2021年6月6日

セクションスライドの 具体例

フレーム作成

- フレーム:スライド資料の1ページ1ページに値するもの
- SLyDIFI では3種類のフレームを区別する
 - 見出し:スライド全体の題目,発表者名などを載せるフレーム
 - セクション見出し:セクションのタイトルを載せる
 - 本文:通常のフレーム

テキストの記述

以下のようなコマンドを用いてテキストを記述できる.

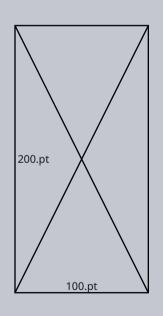
- +p{}: 段落
- +listing{}: 番号のない箇条書き
- +enumerate{}: 番号付きの箇条書き

さらに、インラインテキストの中では以下のマークアップが使える.

- \emph{}: 強調
- \text-color(){}: 文字色変更

図表の貼り付け (FigBoxモジュール)

- 例: +fig-center(FigBox.include-image 80pt `path/to/image.jpg`);
 - FigBox.include-image:画像 (PDF/JPEG) を指定幅で読み込む
 - +fig-center:読み込んだ図を中央揃えで配置
- その他にも様々な読み込み用の関数や配置コマンドが用意 されている
 - dummy-box:指定されたサイズのダミーボックス
 - hmargin:水平方向に指定された量の余白を付ける
 - vconcat:鉛直方向に図を結合
 - \fig-inline:テキスト中 30.pt に画像を出力
 - +fig-on-right:画像を右に,本文を左に配置

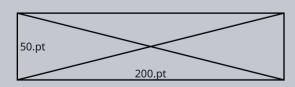


SLYDIFI でオーバーレイ

オーバーレイの例 (1/4)

この段落は常に表示される.

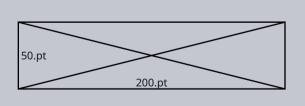
- □ オプション引数を指定して、今何枚目かに応じて表示を出し分けられる. この段落は 1, 2 枚目のときのみ表示される段落.
- □これは3枚目以外のときに表示される段落.
- □これは 1,4 枚目のときのみ表示される段落.

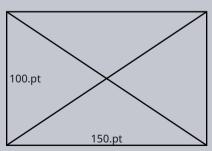


オーバーレイの例 (2/4)

この段落は常に表示される.

- □ オプション引数を指定して、今何枚目かに応じて表示を出し分けられる. この段落は 1, 2 枚目のときのみ表示される段落.
- □これは 2, 3 枚目のときのみ表示される段落.
- □これは3枚目以外のときに表示される段落.

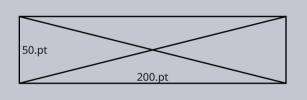


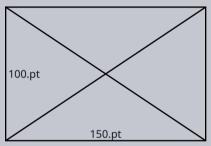


オーバーレイの例 (3/4)

この段落は常に表示される.

□これは2,3枚目のときのみ表示される段落.

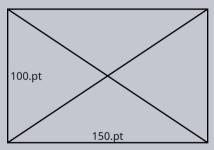




オーバーレイの例 (4/4)

- この段落は常に表示される.
- □これは3枚目以外のときに表示される段落.
- □ これは 1,4 枚目のときのみ表示される段落.





実際には,オーバーレイは上から順に表示させる用途で用いられることが多い.

実際には,オーバーレイは上から順に表示させる用途で用いられることが多い.

そのような需要に簡潔に応えるために +show-in-order というコマンドが用意されている.

実際には,オーバーレイは上から順に表示させる用途で用いられることが多い.

そのような需要に簡潔に応えるために +show-in-order というコマンドが用意されている.

+show-in-order: [block-text list] block-cmd

実際には,オーバーレイは上から順に表示させる用途で用いられることが多い.

そのような需要に簡潔に応えるために +show-in-order というコマンドが用意されている.

+show-in-order: [block-text list] block-cmd

順に表示させたいブロックテキストの列を与えれば, 順々に表示してくれる.